

県民くらし満足度日本一をめざして・・・

第3号

県庁のしごとと改革ニュース



「速く」、「ムダなく」、「いい仕事」

～ 日本一のひとり1改革運動の取組成果のご紹介～

静岡県が取組んでいる「しごと改革」。今回は、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革を実践している「ひとり1改革運動」についてご紹介します。
この運動は平成10年度に始まりましたが、平成18年度の取組12,590件の効果を数値換算しました。

平成18年度12,590件の取組効果

職員

県民満足度の向上

141億8,122万円 + 50人 + 5,935件

節約と経済効果

36億241万円の事務経費を節減

例：ヤフーと災害広報協定を締結し、無償でサイトを提供してもらうことで、災害時の安定した災害情報の提供と開発費1億2千万円・年間維持費2千万円を節減

9万7,086時間の事務時間を節約 (職員50人を採用するのと同じ効果)

例：10箇所それぞれにいた現場監督を当番者が一括して行い、1,000時間を節約

105億7,881万円の経済効果が発生

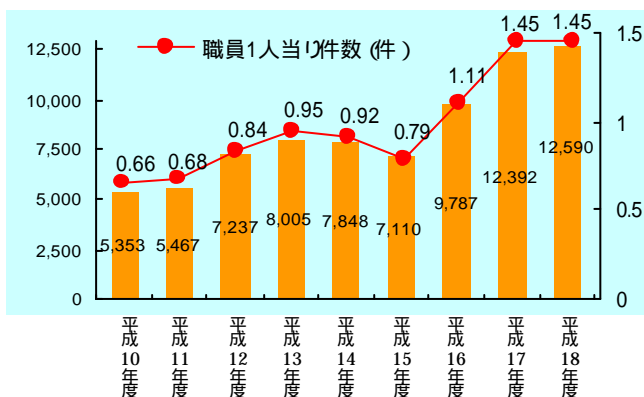
例：回転広場の設置で大井川橋周辺の渋滞が解消し、その経済効果換算額が64億円

県民満足度の向上

県民の皆様の満足度が向上した取組 5,935件

例：緊急時には、県立総合病院でも診察可能な「癸カード」を発行し安心感を提供
県・市町合同で、外国人の方が利用しやすい休日に納税相談を実施
県庁案内で、耳の不自由な方への筆談での案内を実施
旅券交付窓口で、交付件数が多い休日には窓口を増やし、待ち時間を短縮
がんセンターで、麻酔についてのビデオを作成し、患者さんにわかりやすく説明

< 取組件数の推移 >



< 全国比較 >

順位	平成16年度		平成17年度	
	県名	提案件数	県名	提案件数
1	静岡	9,787	静岡	12,392
2	東京	1,517	東京	1,356
3	大分	924	大分	534
4	福岡	745	福岡	507
5	福井	463	福井	443



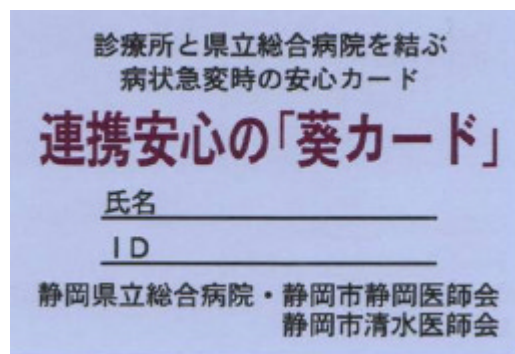
<安心> 葵カードで患者さんもひと安心

県立総合病院では、日常的な診療は地域の診療所、専門的な診療は病院が行う「病診連携」により、質の高い医療サービスの提供を目指しています。

しかし、患者さんの中には「容態が急変したときにすぐに病院で診てもらえるのか」という不安の声があったため、連携安心の「葵カード」を発行して、万一診療所と連絡が取れなくても、すぐに県立総合病院で診察を受けることができるという「安心」を提供しました。

(県立総合病院病診連携委員会)

患者さんに安心感を提供



「葵カード」に関する問合せ先
県立総合病院(054 247-6111)

<心くばり> 利用者の視点に立った快適な窓口対応

耳の不自由な方が旅券窓口に来られた場合、その都度筆談などで対応していましたが、説明・質問などを記入した用紙をあらかじめ用意しておき、必要な項目を指で示すようにしました。

これにより、良好なコミュニケーションとスムーズな対応が可能になり、旅券の交付までの時間を短縮しました。

(西部県民生活センター)

窓口サービスの向上



静岡県庁では、来庁される県民の皆様が
快く感じる窓口対応を心掛けています。

<危機管理> ヤフーとの災害広報協定で安定した情報を無料で発信

東海地震等の大災害が発生した場合、災害に関する情報を求めて県のホームページへの接続が殺到してつながりにくくなったり、最悪の場合はデータなどを集中管理するコンピュータ(サーバ)自体が地震等で壊れ、災害情報の提供ができない恐れがありました。

そこで、利用者の多いインターネット事業者ヤフーと災害広報に関する協定を結び、ヤフーのブログで災害情報を安定的に、かつ無償で提供できるようにしました。

いざという時のためにパソコンや携帯電話に事前に登録してはいかがですか。

(企画部広報室)

経費削減 : 1億 2千万円 + 2千万円
(開発費用) (年間維持費)

Official Blog 静岡県の災害情報

ふだんからご覧いただき、災害時の情報を得る手段の1つにしてください。【管理

静岡県防災局からの
緊急発信情報
こちらをクリック

画像 アバター



県からのお知らせ

平成19年1月21日午後9時57分ごろ

情報発表時刻 2007年1月21日 22時2分
発生時刻 2007年1月21日 21時57分ごろ
震源地 静岡県伊豆
緯度 北緯34.7度
経度 東経138.8度
深さ 10km
規模 マグニチュード 2.8

詳しくは、気象庁ホームページへ
<http://www.jma.go.jp/jp/quake/>

アドレス

http://blogs.yahoo.co.jp/shizuoka_saigai

<協働> 地域住民 学校と協働して放置竹林の有効活用

静岡市谷津山地区では、県と市も支援して、ボランティアの皆さんが竹林整備を行っていましたが、竹林面積が広く、苦勞していました。

一方、県立静岡北養護学校南の丘分校では、作業学習として取り組んでいる竹炭作りの材料の入手に苦勞していました。そこで、谷津山再生協議会、中部農林事務所、南の丘分校が協力して、竹を伐採し竹林整備をするとともに、南の丘分校では伐採した竹を竹炭として消臭剤や竹炭風鈴などに再利用しています。

(中部農林事務所森林整備課)

迷惑な竹林を資源として活用



<協働> 県民の皆さんの協力により不法投棄防止

大きな社会問題となっている森林への不法投棄を食い止めるために、「森林パトロールサポートカー」制度を発足させました。地元の方々に加え、工事契約業者の皆さんにも「森林への不法投棄監視中」というステッカーを配布しました。ステッカーを社用車に貼り、会社から工事現場までのルートを監視して、不法投棄などを発見した場合には、農林事務所に通報してもらうことになっています。この取組が県内に広がり、現在は 1,600 台以上の車がパトロールサポートカーとして活躍しています。

(志太榛原農林事務所治山課)

地域防犯力の向上



「森林パトロールサポートカー」に関する問合せ先
志太榛原農林事務所治山課
(0 5 4 2 4 7 - 6 1 1 1)

<情報発信> 工事着手前の直接訪問説明でスムーズな工事

土木事務所が実施する街中の工事では、騒音や振動、ほこりなどに関する苦情が寄せられることがあります。

そこで、騒音などで迷惑をかける恐れがある住民の皆さんに対し、工事着手前に職員が直接資料を持参し、工事の必要性や効果、工程等を説明するようにしました。

その結果、何度も歩道を掘り返す電線共同溝工事やほこりの発生が著しい急傾斜工事でも、地域住民の方の御理解をいただくことができました。

(下田土木事務所工事第 1 課)

住民の皆さんのイライラ減少

県民の皆様が安心・安全で、便利に暮らすことができるように道路などの社会資本整備を皆さんのご意見を聞きながら、効果的、効率的に進めています。

そのための工事を行う際に御迷惑をお掛けすることもあります。情報提供や迅速な工事に努めますので、御理解と御協力をお願いします。



< 思い切っかえる > 新しい発想で大井川橋周辺渋滞の解消

交差点の渋滞対策では、通常は右折レーンを設置しますが、橋の場合は拡幅工事が必要なため、多額の工事費と工事期間がかかります。そこで、地元関係者と協議し、右折車両を一旦左折させ、回転広場で方向転換させるというユニークな試みを実施しました。その結果、橋梁工事では15億円かかるところ、この手法では4千6百万円で実施でき、渋滞も解消しました。

(島田土木事務所企画検査課・工事第1課)

経費節減 : 14.5億、経済効果 : 64億円



【効果】
 渋滞長 (10時 ~ 12時) 1000m 0m
 通過時間 (18時 ~ 19時) 15分 7.5分

< これまでの主な取組事例と効果 >

	主な取組事例	効果	
12年度	宅配便の一元化・巡回郵便の実施	約 2,000 万円	発送経費の節減
	県庁の電気需給契約に際し、一般競争入札を実施	約 1,500 万円	電気料金の節減
13年度	雨水とソーラー発電を利用したトイレ等の整備	約 100 万円	維持管理費の節減
	バーコード印字郵便割引に適合する納税通知書に変更	約 2,000 万円 3,000 時間以上	発送経費と事務時間の節減
14年度	国・県・市の協働で清水港紹介パンフレットを製作	県民満足度向上	効果的な見学案内
	在住外国人向けの携帯電話等サイトを開設	都道府県初の取組	有益な情報の提供
15年度	滅菌ガーゼ・綿球等の供給方法を変更	約 1,600 万円	経費の節減
	ボランティアによる港湾指導員制度の創設	県民満足度向上	港湾管理体制の充実
16年度	大阪の女性3人を起用したインパクトのあるオレオレ詐欺CMを制作	1億円以上	1億円以上のCM効果と被害件数の減少
	夜間納税窓口の定期開設	県民満足度向上	納税しやすい環境づくり
	患者さんの待ち時間を利用した血液検査見学サービス	県民満足度向上	検査に関する理解促進
	扱いやすい手術用縫合糸に変更	約 270 万円	安全性は維持して経費節減
17年度	センサー式通路路安心灯を地域と協働で開発	全国初の取組	防犯まちづくりの推進
	農家と住民との協働で鳥獣害防止柵を設置	約 7,200 万円	10年間の被害想定額の防止
	渋滞緩和事業により通過時間を短縮	約 300 億円	時間短縮に係る経済効果
	治療証明カードで患者さんの生活支援	県民満足度向上	患者さんへ安心感を提供

静岡県総務部行政改革室

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2911 FAX：054-221-2750

e-mail gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/sm-17/>

平成19年3月発行